

令和 3年度事業報告書

法人の名称:特定非営利活動法人たけのこ会

1 事業の成果

相談支援事業では、令和3年度において、一般相談を活発に行ない、外出活動から地域生活、自立生活へと当法人内の各事業所の利用者を中心にその方向性が見いだされるように業務展開を行ってきた。各事業所間で、そのための相互理解、相互協力の土台も構築されつつあるところである。ただ、相談支援事業としては、志半ばであるが、人材不足のため令和3年度末日をもって事業を閉鎖することとした。なお、計画相談利用者の他の事業所への移行は、すべて速やかに行なうことができた。

生活介護事業では、新型コロナウイルスの不安が続く中、利用者・スタッフが一致団結して感染予防に努め、クラスターが起きることもなく安心・安全に過ごすことができた。また、個別支援計画に基づき、利用者一人一人に合わせたサービスを提供し、一年を通して、作業・生活実習・レクリエーション・日帰り旅行等、様々な活動を行い、明るい雰囲気の中、活動することができた。

居宅介護事業では、コロナ禍の緊急事態宣言の影響により、移動支援サービスの縮小を余儀なくされたが、その分居宅介護サービスの充実に力を入れ、利用者の精神的、生活的、活性化を図ることができた。

身障者用グループホーム運営事業では、スタッフが4人の入居者の身体介護、家事援助等を行い、コロナ禍によるストレスや不安に対し、対話を通しやわらげ、個々のプライバシーの尊重にも努め、感染対策にも万全を期した。

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

(1) 障害相談支援事業

- ① 事業の内容:サービス利用計画を作成し、一般相談を取り入れ情報提供を行ない、自主性を尊重した、自立生活へのアプローチを行なった。
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会自立生活支援センター、利用者宅
- ④ 事業の従事者:2名
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者ならびにその家族 計20名
- ⑥ 事業の支払額:7,182,868円

(2) 障害福祉サービス事業

ア)生活介護事業

- ① 事業の内容:通所障害者たちが作業や生活実習を通し、社会参加活動を行ない、それを8名の職員が支え、自立へのアプローチを取っている
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会協同作業所
- ④ 事業の従事者:8名(内・看護師1名、送迎運転手1名)
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者 24名
- ⑥ 事業の支払額:36,231,460円

イ)身障用グループホーム運営事業

- ① 事業の内容:スタッフが4人の入居者の身辺介助や家事援助等を行ない、共同生活というかたちを通し、地域での自立生活を実践している。
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会アイエルホーム
- ④ 事業の従事者:2名
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者 4名
- ⑥ 事業の支払額:10, 860, 081円

ウ)身体障害者居宅介護事業

- ① 事業の内容:一人暮らしの障害者をはじめ、高齢の親との同居生活を行なっている障害者に対し、必要な身辺介助や家事援助を行ない、在宅障害者の地域生活を支えている。
- ② 事業の日時:通年
- ③ 事業の場所:たけのこ会介助派遣センター 派遣利用者宅
- ④ 事業の従事者:40名
- ⑤ 事業の対象者:障害当事者 45名
- ⑥ 事業の支払額:118, 012, 136円